

Save the Children

セーブ・ザ・チルドレン

団体概要

セーブ・ザ・チルドレンの支援により
修繕された学校に通う子ども（カンボジア）

© Ratha Yous/ Save the Children

世界中すべての子どもの権利が実現された世界を目指して。

セーブ・ザ・チルドレンは、子ども支援活動を行う民間・非営利の国際組織です。第一次世界大戦後、多くの子どもが栄養不良に陥っていたなか、敵味方を超えて子どもたちを支援しようと立ち上がったエグランタイン・ジェブが、1919年にイギリスで創設しました。



日本を含む約110ヶ国で活動

2024年にセーブ・ザ・チルドレンが直接支援を届けた子ども
4,117万8,657人

■ 2024年にセーブ・ザ・チルドレンが活動した国や地域
■はセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが駐在員を派遣するなどして事業を実施した国や地域

緊急・人道支援

自然災害や紛争などの影響を受けた子どもや地域社会に対して、迅速かつニーズに合った支援を行い、人々が日常を取り戻したり、生活を再建したりできるようサポートします。

保健・栄養

妊産婦と新生児のケア、感染症や栄養不良の予防と治療、保健システムの強化などを通し、すべての子どもやその家族が、良質な保健サービスを受けられるよう支援します。

教育

すべての子どもが質の高い教育を受けられるよう、学習環境の改善、教員の能力養成、地域社会の意識向上、就学前教育の普及などの活動を通して支援します。

子どもの保護

子どもを暴力、虐待、搾取から守るための取り組みや、安心・安全に成長できる環境づくりを、行政や地域社会、保護者、子どもたちなどさまざまなステークホルダーとともに推進します。

防災（災害リスク軽減）

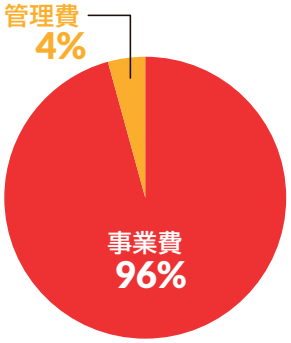
防災に子どもたちの声が反映され、災害時に子どもたちが主体的に行動できるよう、地域社会の防災体制を強化。子どもを中心とする防災を推進します。

子どもの貧困

すべての子どもが生活や成長に必要なものやサービス、機会を得られ、可能性を発揮できるよう、直接支援や社会啓発、政策提言を通し、子どもの貧困問題の解決に取り組んでいます。

2024年度会計報告

96%が、世界中の子どもたちのための事業費に充てられています。



経常費用35億611万円

海外での活動事例

緊急・人道支援



人道危機が深刻なパレスチナ・ガザ地区、ルーマニアやイエメン、シリア、バングラデシュ、モザンビーク、南スーダンなどで子どもたちやその家族へ緊急物資や食料支援、子どもの保護、教育、保健・栄養などの分野で支援しました。また、トルコ・シリアなど地震の影響を受けた子どもたちへ精神保健・心理社会的支援を実施しました。

教育



パキスタンで、学校に通えない子どもたちに学用品を配布したほか、モンゴルのすべての子どもが教育の機会を得られるようインクルーシブ教育を推進するなど学習環境改善の支援などを行っています。

子どもの貧困



すべての子どもが生活や成長に必要なものやサービス、機会を得られ、可能性を発揮できるよう、バングラデシュやモンゴルの若者へ起業・就業に関するスキル向上支援などの事業を実施しました。

子どもの保護



カンボジアの小学校で子どもに対する暴力の根絶と予防を目指し活動したほか、モンゴルでは女子を暴力や搾取から保護するための活動を行いました。

保健・栄養



ベトナムやウガンダで子どもたちの栄養状態の改善を目指し、生計向上支援や栄養不良の早期発見のための取り組みなどを行っています。

日本国内での活動事例

能登半島地震・豪雨 緊急復興支援



能登半島地震の被災地域に入り、衛生用品や遊び道具などが入った緊急子ども用キットの配布、学校などへの備品の提供、給食補食支援といった、さまざまな支援を行いました。また、子どもたちが安心・安全に過ごせる空間「こどもひろば」を実施しました。奥能登豪雨の被害のあった地域では、ニーズにあわせた支援活動も行いました。

子どもを中心とした防災



自然災害などの緊急時に備え、子どもと大人双方に防災イベントやワークショップ、研修などを実施したほか、佐賀県と熊本県の放課後児童クラブ（学童保育）計108ヶ所へ防災備品を提供しました。

子どもの貧困問題解決



経済的に困難な状況にある世帯へ新入学や高校生活のための給付金、新生児育児用品、体験の機会提供などのほか、長期休暇期間の子どもの食を支えるために、のべ約1万世帯へ「子どもの食 応援ボックス」を届けました。また、制度改善に向けた啓発や政策提言に注力しています。

アドボカシー



国内外の子どもたちを取り巻く状況には多くの課題があります。さまざまな問題の根本解決を目指し、政策や政府の取り組みに子どもの権利が基盤として位置づけられるようアドボカシーに取り組んでいます。

（海外・国内での活動事例は、2024年度年次報告書より抜粋）

VISION

セーブ・ザ・チルドレンは、すべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する権利が実現されている世界を目指します。

MISSION

セーブ・ザ・チルドレンは、世界中で、子どもたちとの向き合い方に画期的な変化を起こし、子どもたちの生活に迅速かつ永続的な変化をもたらします。

Save the Children

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F
TEL 03-6859-0070 ウェブサイト www.savechildren.or.jp

202510